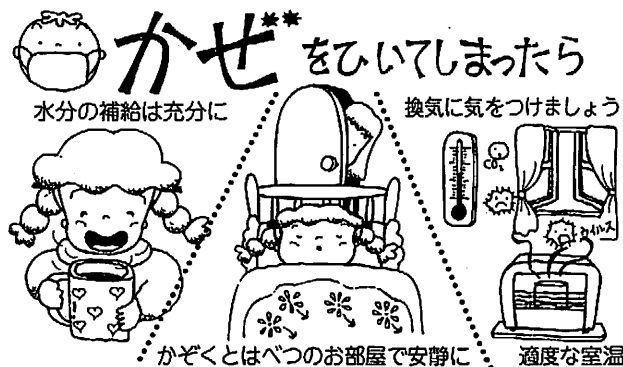
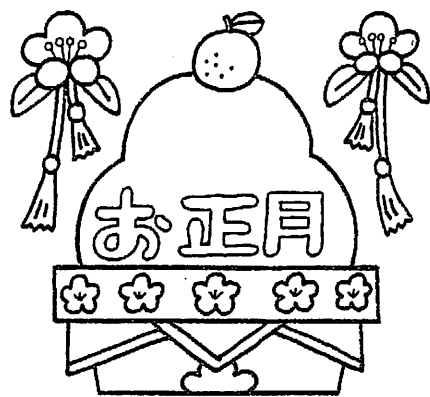


1月のほけんだより

2002年の
2月14日

太陽の子保育園
平成14年1月

あけましておめでとう
あけましておめでとうございます
今年も元気に過ごしましょう



病気をしておこす

「かぜのウィルス」と言うのは、80種類とも100種類とも
言われるほど色々あります。子どもたちは、色々な種類のかぜに
繰り返しかかります。そして、少しずつしっかりした免疫の力をつけて、
病気に抵抗力のある丈夫な体になっていきます。

熱を出すのも、下痢や嘔吐も、困ったことと思われるでしょう。しかし、そうやっ
て自分の体でウィルスをやっつけようと頑張っているのです。元気な体に育つために
は欠かせないことでもあるのです。



なるべくのんびり



子どもが体調の良いときは、なるべくお家でゆっくりさせてあげたいも
のです。体温の高めの時、咳で良く眠れなかった時、あまり食事を食べなな
った時、笑顔がない時など、お友だちの中で大勢でにぎやかに過ごすのは、
ちょっとつらい……。

「でも、仕事もこれ以上休めないし、少し心配な体調ではあるけれど、登
園させよう……」と思う時は、必ず朝の検温をして、連絡帳に詳しく状態を
書いて下さい。

登園後具合が悪くなれば、職場に連絡してお迎えを頼むこともあります。
状態によっては、会社に着いたばかりのところに「すぐ、お迎えを……」と、
電話がいってしまうかもしれません。

子どもの病気の時が、育児と仕事との両立に、一番困難を感じる時でしょ
う。でも養生して元気が回復した時の子どもの笑顔ほど、私たちが幸せな気
持ちにさせてくれるものではありません。

病気でつらい時、家族や周囲の大人に心配されて優しくしてもらったこと
は、きっとその子の心が豊かに成長する糧になると思うのです。それと同時
に、私たち周囲の大人の心も一緒に育っているような気がします。